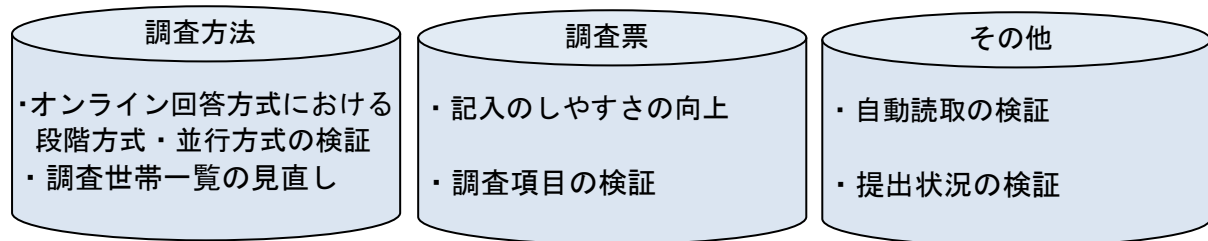


平成27年国勢調査第1次試験調査実施計画（案）

目 的

平成27年国勢調査の実施に当たり、①平成22年国勢調査で導入した手法に係る利点の維持向上及び課題への対応を図ること、②調査票の記入精度の維持向上等を図ることを目的として、オンライン回答方式をはじめとする事項について検証する。

検証事項



期日・地域

調査期日：平成24年7月12日（木）（平成27年10月1日と同じ曜日を設定）

調査地域：7府県14市町（384調査区、約19,000世帯）

調査方法

《段階方式》	《並行方式》
<p>オンラインによる回答（提出）を、他の方法による回答（提出）よりも前の段階（期間）に設定する方式</p>	<p>オンラインによる回答（提出）と紙の調査票による回答（提出）を、同じ段階（期間）に設定する方式</p>
<p>お知らせ（※）配布 ↓ ※ID、確認コード配布</p> <p>オンライン回答 ↓ (未回答世帯のみ)</p> <p>調査票配布 ↓</p> <p>調査員・郵送回収</p>	<p>お知らせ配布 ↓</p> <p>調査票（※）配布 ↓ ※ID、確認コード配布</p> <p>調査員・郵送回収、 オンライン回答</p>

調査票

A4両面（従来方式）、A3片面の2通りを使用

検証事項： 調査方法

1 オンライン回答の推進に向けた取組

- 段階方式の導入による影響（オンライン回答率、調査員事務・市町村事務等）を把握
- 平成22年調査において、東京都で導入した方式（並行方式）を他府県で導入することによる影響を把握

- ◆段階方式：オンラインによる回答（提出）を、他の方法による回答（提出）よりも前の段階（期間）に設定する方式 [参考1 参照]
- ◆並行方式：オンラインによる回答（提出）と紙の調査票による回答（提出）を、同じ段階（期間）に設定する方式 [参考2 参照]

2 調査世帯一覧の設計の見直し及び活用による人口・世帯把握の徹底

- 調査員が以下の事項を調査世帯一覧に記録することにより、世帯把握の徹底を実施
 - (1) 調査票配布時及び回収時の世帯との面接の可否
 - (2) 世帯に調査票等を配布する際に、当該世帯から面接により聴取した世帯員の数（男女の別を含む。）
 - (3) 聞き取り調査を行った場合の聞き取り先に関する情報

検証事項： 調査票

3 記入しやすさの向上に関する検証

- A 4 縦・4名連記・両面（平成22年調査と同規格）と、A 3 横・4名連記・片面の調査票により、両面であることによる記入漏れへの影響を検証
- 簡易調査の調査項目数を踏まえた紙面の文字の拡大化等について検証
- 「仕事の種類」及び「所属の事業所の名称及び事業の種類」の配置順を工夫することによる世帯の忌避感の緩和について検証

4 調査項目（簡易調査）の検証（別紙参照）

- 簡易調査の調査項目について、次の見直しを実施し、検証
 - 【追加】「現在の居住地における居住期間」及び「5年前の住居の所在地」
→理由：平成23年3月11日に発生した東日本大震災の前後の時点（平成22年10月1日と平成27年10月1日）における人口移動の状況について把握するため。
 - 【削除】「住宅の床面積」
→理由：記入負担の軽減のため。
 - 【記入者の変更】「住宅の建て方」を調査員記入項目に変更
→理由：世帯の記入負担の軽減及び建物の外観等の情報に基づく調査員記入への移行の可能性について検証するため。

検証事項： その他について

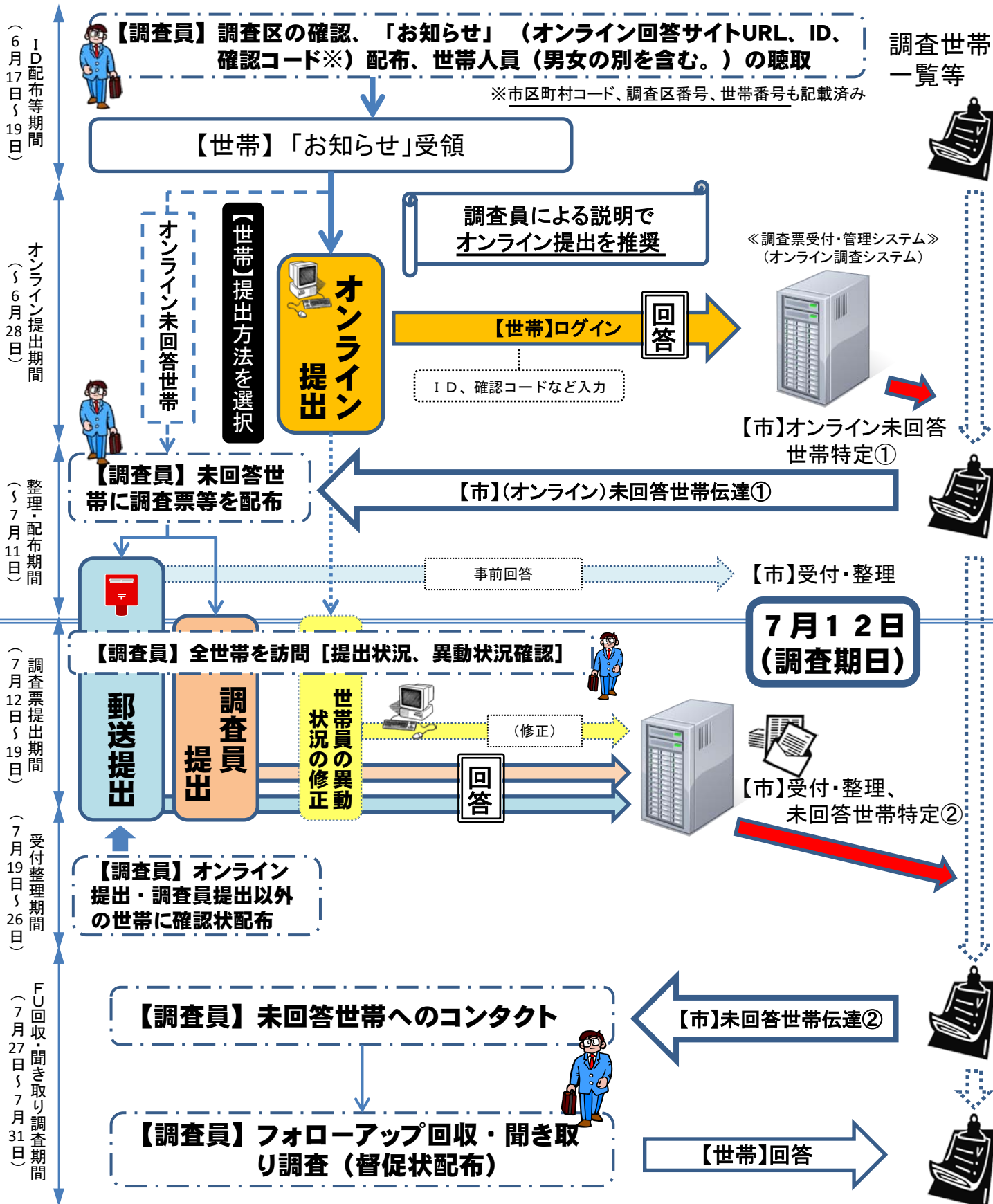
5 産業欄・職業欄等の自動読取り・自動格付の実施

- 「仕事の種類」、「所属の事業所の名称及び事業の種類」等の記入について、回答欄の設計を見直すことによるOCR機による自動読取り（文字認識）の精度を検証するとともに、産業大分類格付・職業大分類格付の自動格付を始めとする格付事務等の効率化について検証する。

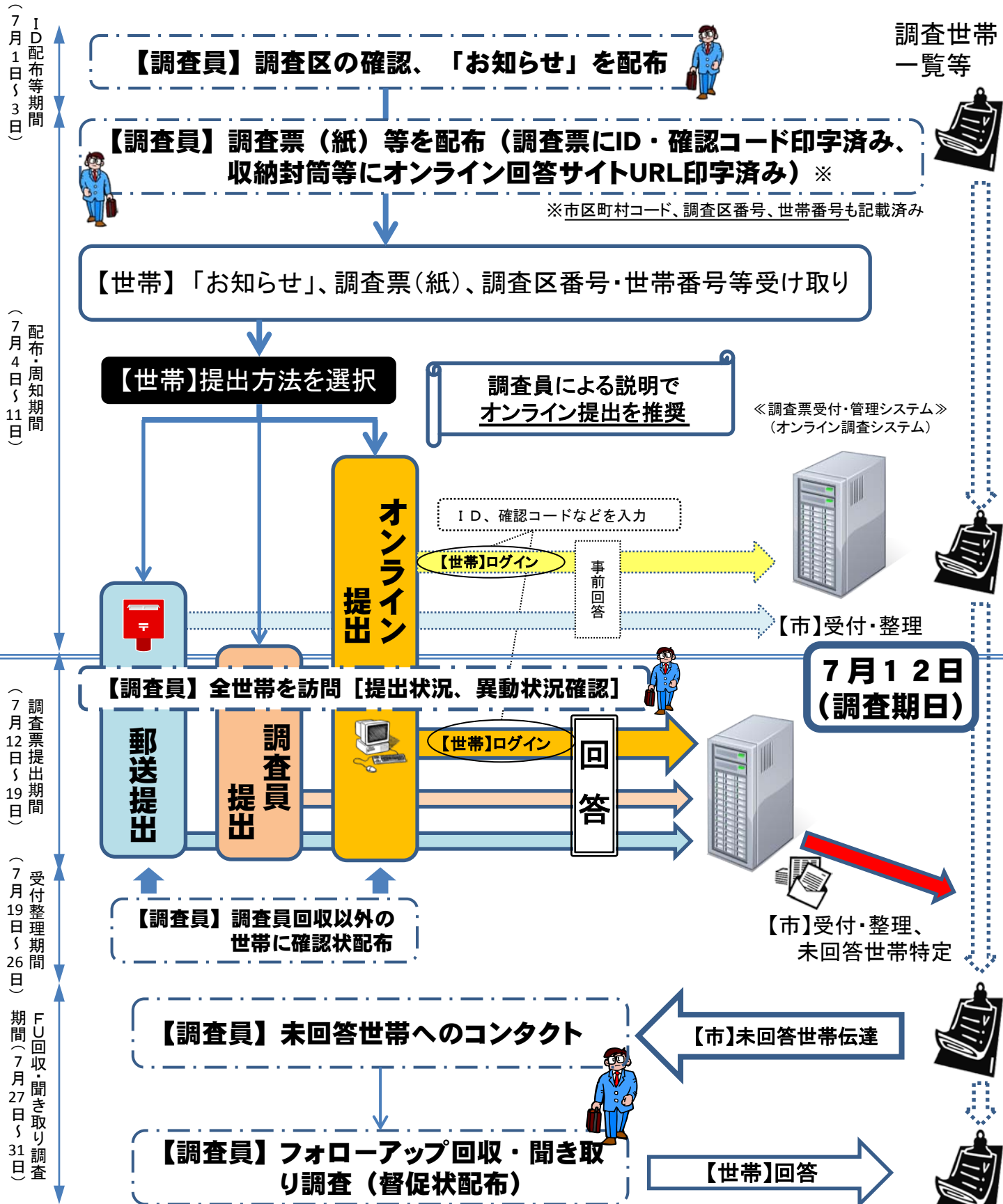
6 調査票提出経路の状況の把握

- 調査票の枠外に提出経路に関する欄を設け、経路別の世帯属性を把握する。

平成27年国勢調査第1次試験調査イメージ(段階方式)



平成27年国勢調査第1次試験調査イメージ(並行方式)



平成27年国勢調査第1次試験調査 調査項目(案)

資料3-1別紙

	調査項目(平成22年国勢調査)	第1次 試験調査	備 考
世帯員に関する事項	1 氏名	○	自動読取を検証するための調査項目として活用する。
	2 男女の別	○	
	3 世帯主との続柄	○	
	4 出生の年月	○	
	5 配偶の関係	○	
	6 国籍	○	
	7 現在の居住地における居住期間	○	} 大規模調査の項目だが、H27は東日本大震災後の人口移動状況把握に対するニーズから調査項目とする。
	8 5年前の住居の所在地	○	
	9 在学、卒業等教育の状況	×	大規模調査の項目であるため、削除する。
	10 就業状態	○	
	11 従業地又は通学地	○	
	12 従業地又は通学地までの利用交通手段	×	大規模調査の項目であるため、削除する。
	13 従業上の地位	○	
	14 所属の事業所の名称及び事業の種類	○	} 自動読取を検証するための調査項目として活用する。
	15 仕事の種類	○	
世帯に関する事項	16 世帯員の数	○	
	17 住居の種類	○	
	18 住宅の建て方	○	建物の外観等に基づき調査員による把握可能性を検証する。
	19 住宅の床面積	×	記入者負担軽減の観点から削除する。
	20 世帯の種類	○	
調査項目数		17	